

指導内容系統整理表 <高等学校>

R7.11.24 音楽科授業工房ワークショップ資料

【歌唱】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
高等学校	音楽Ⅰ	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 自己のイメージをもって 歌唱表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅱ	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 個性豊かに 歌唱表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅲ	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を 総合的に 動かせながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫すること。

イ「知識」				ウ「技能」		
曲想／音楽の構造・歌詞	音色、言葉／曲種	様々な表現形態	生活や社会との関わり	発声、身体の使い方	他者との調和	表現形態の特徴
イ 次の(?)から(?)までについて理解すること。 (?) 曲想と音楽の構造や歌詞、 文化的・歴史的背景との関わり	(1) 言葉の特性と曲種に応じた 発声との関わり	(2) 様々な表現形態による歌唱 表現の特徴		ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(?)から(?)までの技能を身に付けること。□		
イ 次の(?)から(?)までについて理解すること。 (?) 曲想と音楽の構造や歌詞、 文化的・歴史的背景との関わり 及びその関わりによって生み出さ れる表現上の効果	(1) 言葉の特性と曲種に応じた 発声との関わり及びその関わり によって生み出される表現上の 効果	(2) 様々な表現形態による歌唱 表現の固有性や多様性		(?) 曲にふさわしい発声、言 葉の発音、身体の使い方など (1) 他者との調和を意識して 歌う技能	(2) 表現形態の特徴を生か して歌う技能	
イ 次の(?)及び(1)について理解すること。 (?) 曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性			(1) 歌や歌うことと生活や社 会との関わり	ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(?)から(?)までの技能を身に付けること。	(1) 他者との調和を意識して 歌う技能	(2) 表現形態の特徴や表 現上の効果を生かして歌う技能
				ウ 創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けるこ と。		

【器楽】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
高等学校	音楽Ⅰ	ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 自己のイメージをもって 器楽表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅱ	ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 個性豊かに 器楽表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅲ	ア 器楽表現に関わる知識や技能を 総合的に 動かせながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫すること。

イ「知識」				ウ「技能」		
曲想／音楽の構造	楽器の音色／奏法	様々な表現形態	生活や社会との関わり	奏法、身体の使い方	他者との調和	表現形態の特徴
イ 次の(?)から(?)までについて理解すること。 (?) 曲想と音楽の構造や文化 的・歴史的背景との関わり	(1) 曲想と楽器の音色や奏法と の関わり	(2) 様々な表現形態による器楽 表現の特徴		ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(?)から(?)までの技能を身に付けること。		
イ 次の(?)から(?)までについて理解すること。 (?) 曲想と音楽の構造や文化 的・歴史的背景との関わり及び その関わりによって生み出され る表現上の効果	(1) 曲想と楽器の音色や奏法と の関わり及びその関わりによ つて生み出される表現上の効果	(2) 様々な表現形態による器楽 表現の固有性や多様性		(?) 曲にふさわしい奏法、身 体の使い方などの技能	(1) 他者との調和を意識して 演奏する技能	(2) 表現形態の特徴を生かして 演奏する技能
イ 次の(?)及び(1)について理解すること。 (?) 曲の表現内容や様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性			(1) 曲や演奏することと生活 や社会との関わり	ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付けること。	(1) 他者との調和を意識して 演奏する技能	(2) 表現形態の特徴や表 現上の効果を生かして演奏する 技能
				ウ 創意工夫や表現上の効果を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付けるこ と。		

【創作】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
高等学校	音楽Ⅰ	ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 自己のイメージをもって 創作表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅱ	ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 個性豊かに 創作表現を創意工夫すること。
	音楽Ⅲ	ア 創作表現に関わる知識や技能を 総合的に 動かせながら、個性豊かに創作表現を創意工夫すること。

イ「知識」			
イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと聞わせて理解すること。			
イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと聞わせて理解を深めること。			
イ 様々な音素材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと聞わせて理解すること。			

ウ「技能」		
音楽の仕組み	副次的旋律・和音	変奏・編曲
ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(?)から(?)までの技能を身に付けること。		
(?) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能	(1) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくつたりする技能	(2) 音楽を形づくっている要素の動きを変化させ、変奏や編曲をする技能
ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(?)から(?)までの技能を身に付けること。	(1) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくつたりする技能	(2) 音楽を形づくっている要素の動きを変化させ、変奏や編曲をする技能
ウ 創意工夫や表現上の効果を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けること。		

【鑑賞】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」			
評価とその根拠	音楽の意味や役割	共通性や固有性	曲想／音楽の構造	背景、他の芸術との関わり	伝統音楽・諸民族の音楽	感情との関わり・人々の役割
高等学校	音楽Ⅰ	ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(?)から(?)までについて考え、音楽のよさや美しさを 自ら 味わって聴くこと。	イ 次の(?)から(?)までについて理解すること。			
	音楽Ⅱ	ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(?)から(?)までについて考え、音楽のよさや美しさを 深く 味わって聴くこと。	イ 次の(?)から(?)までについて理解を深めること。			
	音楽Ⅲ	ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしながら、次の(?)から(?)までについて考え、音楽のよさや美しさを 深く 味わって聴くこと。	イ 次の(?)から(?)までについて理解すること。			

ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」
「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。	イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関する用語や記号などについて、音楽における動きと聞わせて理解すること。